

## 2020年度（第3事業年度）事業報告書

（2020年6月1日～2021年5月31日）

当法人は、高齢者や認知症者の意思決定能力評価・サポート等を行うことを目的とし、2020年度に以下の事業を行った。

### 1. 京都府委託事業 意思決定支援研修会の開催

2019年度に引き続き、京都府の実施する「認知症の人の意思決定支援研修会」を受託し、計4回の研修を行った。「認知症の人の生活に関わる全ての関係者（医療、福祉・介護、法律職等）が、様々な生活場面（受診、サービス利用、取引、成年後見制度利用等）で本人の能力にあった説明ができるようにする」といった、認知症の人の意思決定支援に関する社会環境整備を目的とした事業であり、今年度も地域連携の一層の促進を図った。

- ① 医療・福祉関係者向け意思決定支援研修会  
開催日時：2020年10月11日（日）13時00分～17時00分  
開催会場：オンライン研修  
参加者数：48名
- ② 成年後見制度関係者向け意思決定支援研修会  
開催日時：2020年11月14日（日）13時00分～17時00分  
開催会場：オンライン研修  
参加者数：62名
- ③ 医療・福祉関係者向け意思決定支援研修会（支援者としての態度編）  
開催日時：2020年12月13日（日）13時00分～17時00分  
開催会場：オンライン研修  
参加者数：57名
- ④ 多職種向け意思決定支援研修  
開催日時：2021年1月29日（金）13時00分～17時00分  
開催会場：オンライン研修  
参加者数：68名

なお、上記の研修を企画・運営するにあたり、以下のとおり、計6回の企画会議が開催された。

#### 第1回会議

日時：2020年9月23日（水）13時30分～14時30分

場所：京都府立医科大学

議題：研修の開催日程、及び内容構成、対象者の検討

#### 第2回会議

日時：2020年10月5日（月）14時00分～15時30分

場所：京都府立医科大学

議題：医療・福祉関係者向け研修の事前確認、オンライン研修の内容構成や周知方法の検討。研修当日の進行確認。

### 第3回会議

日時：2020年10月26日（月）14時00分～15時30分

場所：京都府立医科大学

議題：医療・福祉関係者向け研修のアンケート集計報告、成年後見制度関係者向け研修の申込状況と直前周知方法の確認。研修当日の進行確認。

### 第4回会議

日時：2020年12月3日（木）10時00分～12時00分

場所：京都府立医科大学

議題：成年後見制度関係者向け研修のアンケート集計報告。医療・福祉関係者向け研修の申込状況と直前周知方法確認。研修当日の進行確認。

### 第5回会議

日時：2021年1月6日（木）10時00分～12時00分

場所：京都府立医科大学

議題：多職種向け研修の申込状況と直前周知方法確認。研修当日の進行確認。

### 第6回会議

日時：2021年1月13日（水）15時00分～16時00分

場所：オンライン会議

議題：医療・福祉関係者向け研修のアンケート集計報告、多職種向け研修の申込状況と直前周知方法確認。研修当日の進行確認。

## 2. 第2回意思決定支援研究大会の開催

当法人の活動や開発物の紹介、及び地域における高齢者の意思決定支援の啓発を目的に、研究発表の場を設けた。高齢者が自らの意思で地域生活を維持するために必要な支援について、医療・福祉、工学、法学など様々な分野から講演・発表を募った。

開催日時：2021年2月19日（金）10時00分～16時30分

開催会場：オンライン開催

テーマ：人×デジタルのハイブリッド高齢者支援

プログラム：研究発表、基調講演、シンポジウム等

参加者数：115名

## 3. 投資信託販売受付動画作成

2019年の「椎名・名倉式遺言能力観察式チェックリスト」開発と公開に続いて「高齢者との金融取引対応」の参考として投資信託販売受付動画を作成。投資信託の販売場面において、「意思決定能力の

評価方法」を応用した内容で作成した。

#### 4. 「認知症の人にやさしい」ガイドシリーズの増刷監修

マンション等の集合住宅における居住者の高齢化や認知症者による近隣トラブルの増加を受け、困りごと事例やその対応策、高齢者とのコミュニケーションの要点をまとめた「必携！ 認知症の人にやさしいマンションガイド」と、医療、福祉・介護、法律、金融の多職種連携から高齢者への具体的対応を学ぶ「実践！ 認知症の人にやさしい金融ガイド」を発行し、金融機関中心に多くの支持を得ている。本年も昨年に続いて増刷分の監修を行った

#### 5. コンサルティング業務

金融機関 1 社、印刷技術関連企業 1 社、金融サービス関連企業 1 社からの委託を受け、下記の通り、開発指針の助言、及び開発物の監修を行った。うち、1 社とは来年度も業務契約を継続する予定である。

- ・銀行：「予約型代理人に関するサービス」制度導入の監修
- ・出版・印刷会社：認知症高齢者への対応に関する教材監修
- ・保険会社：認知症高齢者への対応に関する教材監修

#### 6. 賛助会員の拡大

賛助会員への入会を募り、今年度は 3 件（個人 1 件、法人 2 件）の新規入会があった。なお、2021 年 5 月 31 日時点で承認済の賛助会員数は 13 件（法人・個人）である。また、賛助会員向けの研修動画等の配信を 3 回実施した。

#### 7. 金融機関高齢顧客対応ワーキング・グループ報告書作成

企業間の垣根を越えて、高齢者支援の共通理念を模索すべく、銀行や保険会社 13 社が参加し検討を重ねている金融機関高齢者対応ワーキング・グループの 2019 年度の会議内容から「金融取引能力評価」「意思決定支援」の他参加企業の現場の声や、国・自治体への提言も掲載した内容で作成した。

HP からダウンロードも可能で 600 部程の反応あり（2021 年 5 月 31 日）

#### 8. 京都府異業種連携協議会アドバイザー参加

京都府が異業種連携により認知症にやさしいサービスを検討し実践することを目的として令和元年 6 月にスタートさせた、「認知症にやさしい異業種連携協議会」に設立時よりアドバイザーとして参加。

#### 9. 銀行ジェロントロジスト認定試験の開始（銀行業務 3 級 シニア対応銀行実務コース）

「金融機関の窓口・渉外担当者、シニア層向けビジネス関係者等」を対象にジェロントロジーの基礎の理解をベースに、認知判断能力や身体機能が低下してきている高齢顧客を公的支援窓口等と連携して支援し、財産管理を行い、こうした高齢顧客と銀行取引を行う際の実務対応力を検証する試験を一般社団法人金融財政事情研究会と当社団共催で実施した。2021 年 1 月 12 日に開始し 2021 年 3 月末までに 3500 名を超える受検者があり、合格者は「銀行ジェロントロジスト」の認定書を取得。

以上